

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	世田谷区若林5-27-18
園名	世田谷区立 世田谷保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

子どもたちが主体的に探求したり、興味を持ったりできる環境づくり

<テーマの設定理由>

虫が好きで、野菜や草花の栽培にも興味を持っている子ども達が、自ら興味が持てる自然環境をさらに整え、見て感じた事、発見した事を探求できるようにしていきたい為。

2. 活動スケジュール

【6月 実施計画書の作成】

すくわくプロジェクト係を中心に、探求心が育まれる環境について話し合いをする。

【6月 物品の購入】

自然に触れられるようなプランター、虫捕りや観察ができるような観察ワゴン等

【7月 園庭整備】

園庭整備を行い、草花に触れるコーナーや図鑑などで調べられるコーナー設定をする。

【8月以降 振り返り及び再整備】

子どもの姿から職員間で振り返りを行い、園庭の再度整備、泥遊びもできるコーナーを設定する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

草花に触れたり、草花に集まる虫を観察したりできるようプランターを設定する。また虫に興味を持った児が捕まえたり観察したりできるよう、ワゴンの中に虫取り網、虫かご、図鑑、虫めがね等を用意した。また、広いスペースにベンチテーブルを設定することで、子ども達がゆったりくつろいだり遊び込んだりできる環境づくりを行う。アリの巣観察キットや顕微鏡、虫めがねなどは年齢に合わせて各クラスにも用意することで、室内でも探求できるような環境を設定した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

園庭内で子どもたち一人ひとりが主体的に自然物へ触れられる環境づくりを行った。様々な種類の土や砂で遊べる場や、草花を楽しめるコーナーを常設したことで、どの年齢児も遊びの中で発見や閃きがうまれ、探求心が深まる遊びへと繋がっていく姿が増えた。年長児が遊ぶ姿を見て異年齢児も刺激を受けて参加するなど、遊びの中で学年を越えた関わりも見られていた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり！>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

図鑑を見ながら虫を捕まえたり、草花をちぎって感触を楽しんだり泥や砂遊びに発展したりと、園庭での遊びの幅が広がった。園庭で見つけた虫を室内でも観察するなど、継続して楽しむ姿も見られている。年長児が取り組んだアリの観察キットでは、なかなか巣が作れず「どうしてだろう?」と調べて試行錯誤する姿や、それを見た3歳児がアリを捕まえる姿など、異年齢での関わりも見られていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちの興味や関心に合わせて保育環境を新たに構築していくことで、一人ひとりの探求心や好奇心の芽生えを感じることができた。加えて、保育者も子どもたちの姿から刺激や発見を得て、新たに目指していきたい保育環境を明確にしていくことで、視野を広げた活動を行えた。今後は今の環境の継続を図りつつ、虫や草花だけでなく、自然物や自然現象への探求を深めていける環境づくりを行っていきたい。